

第2次プランの概要

地域の衰退を阻止し、持続可能なまちづくりに繋げるため、外国人を含む多様な人材を安芸高田市に受け入れ、それを迎える多文化共生の地域をつくるための5ヶ年(2018年度～2022年度)にわたる具体的な計画を策定したものです。

特徴は

- 第1次プランで取り組んだ外国人市民の支援と同時に、外国人市民が地域で支えられる側から支える側に立ち、地域の発展を支援し活躍の機会をつくります。
- 外国人の移住・定住を促進する施策の調査研究を積極的に行い、市外へ積極的に情報発信します。
- 国連が定めた「持続可能な開発目標」(SDGs)に本プランの各施策を関連付け、グローバルな流れを勘案し推進します。

安心・安全に暮らし活躍できる地域づくり	子どもたちの学習支援	SDGs 目標 4 質の高い教育のあるまちづくり	
	日本語教室の充実		
	多言語学習機会の充実		SDGs 目標 8 働きがいも経済成長もあるまちづくり
	地域コミュニティでの共生促進		SDGs 目標 10 人や地域に不平等のないまちづくり
移住・定住したくなる魅力的な地域づくり	緊急時と災害時に安心できる体制の構築	SDGs 目標 11 住み続けられるまちづくり	
	まちの魅力の発信	SDGs 目標 16 平和で公平性のあるまちづくり	
	起業・就労支援による地域経済の活性化		
	担い手の育成		



安芸高田市 市民部 人権多文化共生推進課

〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791番地
TEL 0826-42-5630 FAX 0826-47-1206
<http://www.akitakata.jp/ja/shisei/section/jinkentabunka/>



22 PLANS

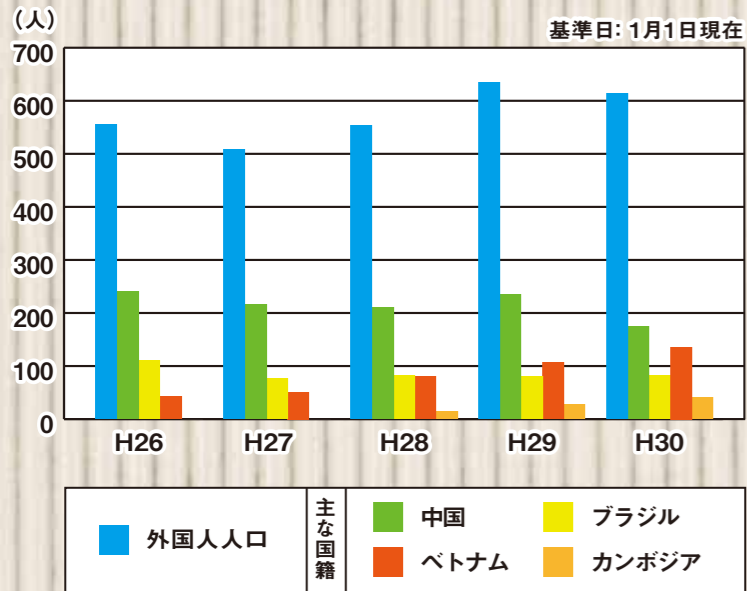


2018 - 2022
AKITAKATA

第2次安芸高田市多文化共生推進プランの体系

多文化共生ってなあに？

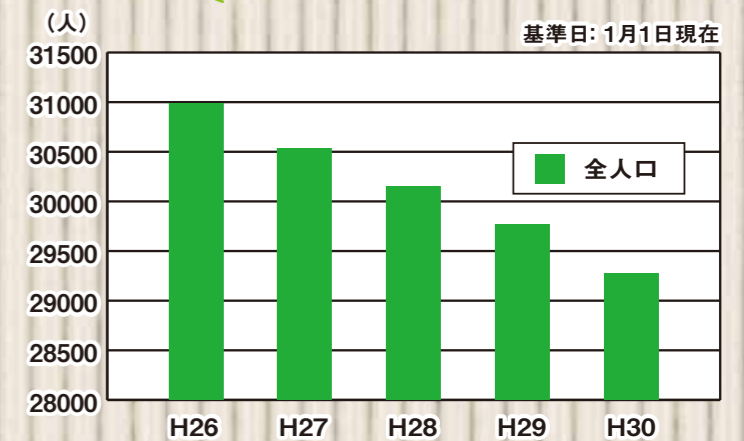
日本に住むすべての人が、国・地域・民族・人種・宗教・言葉・歴史観などの違いにとらわれることなく多様性を持って、一緒に暮らす地域の一人として互いが大切にされ、同じ立場の関係を続け、まちづくりに参加できることが多文化共生です。



外国人市民の割合は、2014(平成26)年1.79%(555人)から2018(平成30)年2.09%(613人)と、日本人人口が毎年減少する中で、割合及び人口が増加しています。

なぜ多文化共生？

人が減っています



2014(平成26)年30,983人であった市の人口は、2018(平成30)年では29,273人となり、5年間で1,710人の人口減となっています。今後もこのような人口減が続くことが予想されます。

人口減少の危機感

- 工場や企業が撤退する
- 介護できる人が不足する
- 農地が荒れる
- 地域の活力が落ちる

ますます多文化共生が必要になってきました



すでに安芸高田市には、20ヶ国600人以上の外国人が住まわれています。

